

令和5年度事務事業評価（令和4年度事後評価）

地域振興部

所属名	事務事業名	ページ番号
地域政策課	有線テレビ運営事業	2
地域政策課	定住促進対策事業（過疎債）	3
地域政策課	過疎地域活性化対策事業	4
地域政策課	地域おこし協力隊事業	5
地域政策課	富土地域振興センター運営事業	6
地域政策課	諸富地区ふるさと創生基金活用事業	7
地域政策課	富士地区ふるさと創生基金活用事業	8
地域政策課	三瀬地区ふるさと創生基金活用事業	9
地域政策課	東与賀地区ふるさと創生基金活用事業	10
地域政策課	久保田地区ふるさと創生基金活用事業	11

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	有線テレビ運営事業		事業期間	平成 22 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 地域政策係		担当課長名	大野 和孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち		
	施策	30情報共有の推進		
	基本事業	広報の充実		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	地上デジタル放送の地理的難視聴地域である富士町、三瀬村、大和町北部をエリアとして、有線テレビを運営する。施設の管理運営は、佐賀テレビジョン株式会社（ぶんぶんテレビ）を指定管理者として行う。また、佐賀市の伝送路を佐賀テレビジョンに貸し付けることで、同エリアにおいては佐賀テレビジョンのインターネットサービスや多チャンネルサービスに加入することができる。				
事業の対象者	対象エリア（富士町、三瀬村、大和町北部）の住民				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 有線テレビ加入世帯数 1, 5 1 0 件（令和5年3月末時点） 指定管理業務：課金業務、施設・設備の維持管理等 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	56,806	53,319	54,677		
うち佐賀市の負担額	56,806	53,319	54,677		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
有線テレビ加入件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,588	1,588 1,545	1,588 1,510	1,588	1,588		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	デジタル化の進展に伴い、佐賀市有線テレビの契約から佐賀テレビジョンのインターネットサービス等への切り替えが見られるが、一定数の加入者を維持できている。



成果目標達成に向けた対応策等
適正な維持管理を行い、快適なテレビの視聴環境を提供することにより加入者数の維持を図る。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	定住促進対策事業（過疎債）	事業期間	平成 21 ～ 年度
担当部署・係名	地域政策課 中山間地域支援係	担当課長名	大野 和孝
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進	
	基本事業	経営の仕組みの充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	平成20年度から「限界集落対策」を少子高齢化や人口減少の傾向が特に顕著な北部の山間部を中心に進めている。北部山間地域（大和町松梅地区・富士町・三瀬村）に定住してもらうことにより、人口減少幅を緩やかにすると共に集落の活性化・コミュニティの維持を図る。				
事業の対象者	北部山間地域（大和町松梅地区・富士町・三瀬村）以外に居住する住民				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・北部山間地域において、空き家バンク制度の運営及び空き家に対する改修費助成を行った。（新規登録物件15件、見学会開催25回（延べ77組177名参加）、成約6件、利用希望者登録数138人（うち新規登録者73人、空き家改修費助成補助実績4件（改修：3件、不要物撤去：1件）） ・集落の巡回とその状況把握、北部山間地集落への振興施策への支援や定住を希望する方の相談などの業務を行うため、集落支援員（富士町担当並びに大和町松梅地区及び三瀬村担当）を配置した。 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	9,645	5,857	9,445		
うち佐賀市の負担額	1,131	1,139	1,112		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
空き家バンク利用登録者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
54	70 96	70 138	70	70		

成果指標②						単位
空き家バンク新規登録物件数						軒
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4	10 9	10 15	10	10		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	活動内容については達成しているが、空き家バンク新規登録物件は今後鈍くなっていくことが想定されるので、物件の掘り起こしが今後一層必要と思われる。



成果目標達成に向けた対応策等
コミュニティの維持のためには、地元住民と行政が現状や課題等の共通認識を持ったうえで、行政主導ではなく一緒に地域の活性化に向け議論を進めていくことが必要である。また、新型コロナ禍において広がる田園回帰の潮流を確実に捉えるため、空き家の物件化に向け、自治会等の関与・協力を促進し、空き家対策を地域の取組として深化する。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	過疎地域活性化対策事業	事業期間	平成 23 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 中山間地域支援係	担当課長名	大野 和孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	過疎地域の活性化対策として、住民が自らの地域のことをよく理解し、地域の資源を活かしたまちづくりができるよう、他の地域のまちづくりの事例を見聞したり、住民同士の勉強会や情報交換を行うことで、住民自らがまちづくりについて考え、実践できるように支援する。				
事業の対象者	市民（過疎地域、富士町地区市民、三瀬村地区市民）				
令和4年度 主な活動実績	過疎地域の活性化対策として、住民が地域資源などについて情報収集できるよう、地域の魅力やイベント等の情報発信を行うとともに、地域の活性化に向けたまちづくりの取組への支援などを行った。 ・三瀬村活性化会議（研修会1回（12人参加）、講演会1回（18人参加）、花苗植栽活動） ・地域情報の発信業務（幸報ふじ：発行6回） ・小さな拠点づくり（人口分析、ヒアリング調査（10件）、講演会（1回））				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,477	5,906	6,545		
うち佐賀市の負担額	558	6	45		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
地域情報の発信回数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
6	6 6	6 6	6 6	6 6		

成果指標②						単位
研修会等参加人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
51	50 69	50 30	50 30	50 30		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	研修会参加予定者に高齢者が多く新型コロナウイルスの影響により参加者が少なかったものの、研修会や講演会を通じ、まちづくりについての意識向上につながった。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き地元住民と行政が現状や課題等の共通認識を持ったうえで、行政主導ではなく一緒に地域活動の活性化を行っていきけるよう支援を行う。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	地域おこし協力隊事業	事業期間	平成 31 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 中山間地域支援係	担当課長名	大野 和孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	人口減少、高齢化等の進行が著しい本市において、地域外の人材を本市に招致してその定着を図るとともに、若者等の定住及び地域の活性化等を促進する。				
事業の対象者	佐賀市外に居住し過疎地域への移住を希望する若者				
令和4年度 主な活動実績	R5年1月末で自伐型林業を目指していた隊員が、3年間の任期を満了し離任した。離任にあたって起業支援金を使い自己所有の空き家に付属する倉庫を木工細工の作業場兼観光客の木工体験用の工房にリノベーションを行った。また、林業においても個人事業主として自伐型の林業家として独り立ちし夫婦での定住につながった。R3年入隊の1名はヨガによる健康づくりのため公民館等のグループで高齢者から小学生等の児童までヨガの指導を行い活動範囲が格段に拡大した。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	10,770	11,463	11,098		
うち佐賀市の負担額	10,770	11,463	11,098		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
地域おこし協力隊活動者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	7 4	6 3	6	6		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	隊員の活動者数は目標に到達していないが、現役隊員による健康増進プログラムによる地域貢献活動の実施、離任隊員による地域における集団営農組織への参画など地域に溶け込んだ活動を実施し、事業としては成果を上げている。また、R5年2月には、おためし地域おこし協力隊を開催し次年度採用に繋げた。

成果目標達成に向けた対応策等

次年度は東京で地域おこし協力隊の募集イベントを佐賀市単独で開催し、新規隊員の採用に向けて活動を行う。募集告知についても佐賀市の公式HPに留まらず、JOIN HP、さかし山ぐらしHP、ふるさと回帰支援センターからのDM、移住フェアでの勧誘、電話でのフォローなど露出を上げるために積極的な活動を行い、新規隊員採用へと繋がる活動を継続する。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

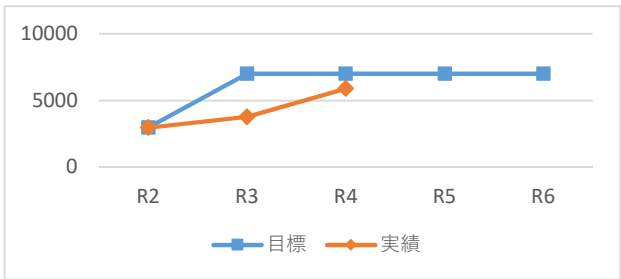
事務事業名	富士地域振興センター運営事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 中山間地域支援係	担当課長名	大野 和孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

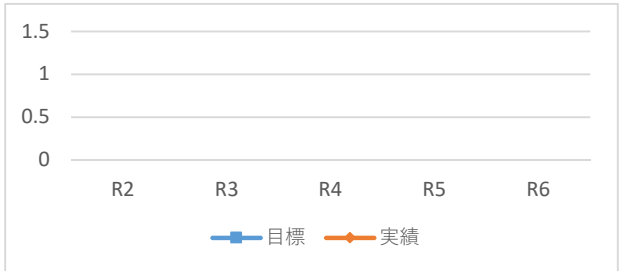
事業概要・目的	人々に憩いと交流の場を提供するとともに、山間地域の豊かな資源を活用した地場産業の生産性の向上及び地域間交流の促進を図る。(指定管理者：株式会社佐賀古湯キャンプ 開館時間：10時～19時(水曜定休))				
事業の対象者	富士地域振興センター利用者				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・富士地域振興センターの修繕及び富士山村広場の土地賃貸借を行った。 ・富士山村広場における駐車場整備と救護棟整備を行った。 ・コロナ禍の影響による富士地域振興センターの利用料収入の減収補填を指定管理者に対し行った。 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,682	11,863	65,558		
うち佐賀市の負担額	1,682	11,863	24,658		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
富士地域振興センター宿泊数						泊
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,960	7,000 3,774	7,000 5,890	7,000	7,000		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	令和4年度は新型コロナウイルスの影響がだいぶ少なくなり前年より宿泊者数は伸びたが、成果目標の達成には至らなかった。今後も新型コロナウイルス対策を万全にし、顧客の新規開拓に注力したい。



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症対策を万全にし、閑散期対策など客層拡大に向けた取組を継続する。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	諸富地区ふるさと創生基金活用事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 地域政策係	担当課長名	大野 和孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市諸富地区ふるさと創生基金とその運用益を「合併前の諸富地区の豊かな地域づくりに資する」ための事業に充当する。				
事業の対象者	諸富地区に活動の拠点又は住所を有する団体等				
令和4年度 主な活動実績	・諸富地区での地域振興事業や人材育成事業等の取組に対して、ふるさと創生基金を財源とした補助金を交付した。(R4交付件数：8件)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,010	1,719	1,700		
うち佐賀市の負担額	1,010	1,719	1,700		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
活用団体数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
9	9 9	9 8	9	9		

年度	目標	実績
R2	9	9
R3	9	9
R4	9	8
R5	9	9
R6	9	9

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2		
R3		
R4		
R5		
R6		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	地域振興事業や人材育成事業等の取組がなされている。



成果目標達成に向けた対応策等
基金の有効活用という観点から、地域住民に対し支所等を通じて広報に努めていく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

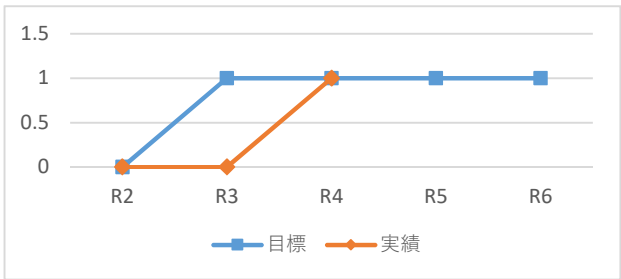
事務事業名	富士地区ふるさと創生基金活用事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 地域政策係	担当課長名	大野 和孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

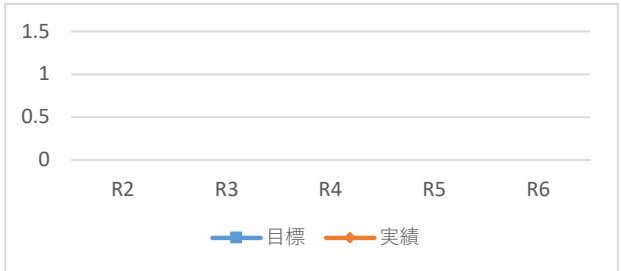
事業概要・目的	佐賀市富士地区ふるさと創生基金とその運用益を「合併前の富士地区の豊かな地域づくりに資する」ための事業に充当する。				
事業の対象者	富士地区に活動の拠点又は住所を有する団体等				
令和4年度主な活動実績	・富士地区での人材育成事業等の取組に対して、ふるさと創生基金を財源とした補助金を交付した。 (R4 交付件数：1件)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	0	145		
うち佐賀市の負担額	0	0	145		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
活用団体数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	1 0	1 1	1 1	1 1		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	人材育成事業等の取組がなされている。



成果目標達成に向けた対応策等
基金の有効活用という観点から、地域住民に対し支所等を通じて広報に努めていく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	三瀬地区ふるさと創生基金活用事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 地域政策係	担当課長名	大野 和孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市三瀬地区ふるさと創生基金とその運用益を「合併前の三瀬地区の豊かな地域づくりに資する」ための事業に充当する。				
事業の対象者	三瀬地区に活動の拠点又は住所を有する団体等				
令和4年度主な活動実績	・三瀬地区でのコミュニティ施設整備等の取組に対して、ふるさと創生基金を財源とした補助金を交付した。 (R4 交付件数：3件)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	0	11,504		
うち佐賀市の負担額	0	0	11,504		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
活用団体数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	1 0	1 3	1	1		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	1	0
R4	1	3
R5	1	1
R6	1	1

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2		
R3		
R4		
R5		
R6		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	コミュニティ施設整備事業等の取組がなされている。

成果目標達成に向けた対応策等
基金の有効活用という観点から、地域住民に対し支所等を通じて広報に努めていく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	東与賀地区ふるさと創生基金活用事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 地域政策係	担当課長名	大野 和孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市東与賀地区ふるさと創生基金とその運用益を「合併前の東与賀地区の豊かな地域づくりに資する」ための事業に充当する。				
事業の対象者	東与賀地区に活動の拠点又は住所を有する団体等				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 東与賀地区でのコミュニティ施設整備の取組に対して、ふるさと創生基金を財源とした補助金を交付した。(R4 交付件数：4件) 東与賀地区内の行事予定及び地域づくり活動の紹介などを記載したカレンダー等を作成し、世帯配布した。(R4 頒布実績：12回) 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	888	671	1,317		
うち佐賀市の負担額	888	671	1,317		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
活用団体数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4	2 2	2 5	2	2		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	コミュニティ施設整備及びカレンダー作成配付の取組が実施できている。



成果目標達成に向けた対応策等
基金の有効活用という観点から、地域住民に対し支所等を通じて広報に努めていく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	久保田地区ふるさと創生基金活用事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 地域政策係	担当課長名	大野 和孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市久保田地区ふるさと創生基金とその運用益を「合併前の久保田地区の豊かな地域づくりに資する」ための事業に充当する。				
事業の対象者	久保田地区内に活動の拠点又は住所を有する団体等				
令和4年度 主な活動実績	・久保田地区での活力ある地域づくり事業等の取組に対して、ふるさと創生基金を財源とした補助金を交付した。 (R4 交付件数：2件)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	0	1,000		
うち佐賀市の負担額	0	0	1,000		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
活用団体数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	1 0	2 2	2 2	2 2		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	活力ある地域づくり事業等の取組がなされている。

成果目標達成に向けた対応策等
基金の有効活用という観点から、地域住民に対し支所等を通じて広報に努めていく。